

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。



地域性を活かした、にぎわいの ある、くらしやすいまちづくり

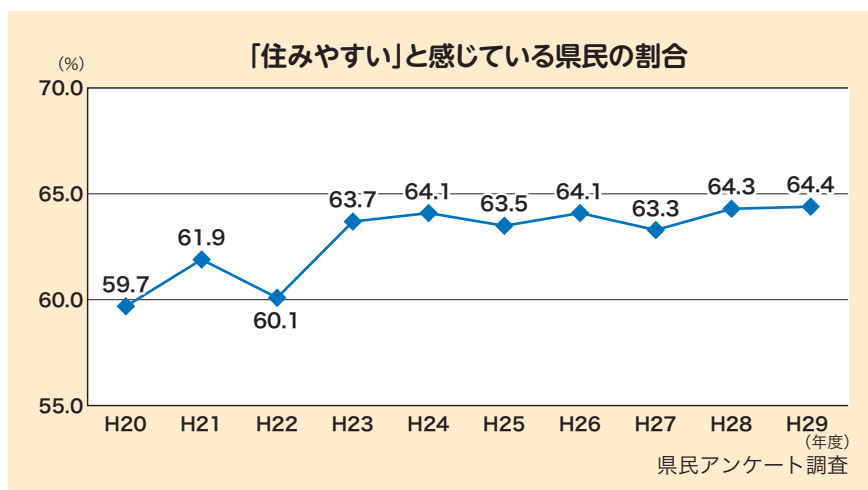
主担当部局：まちづくり推進局



御所マルシェ（御所市）

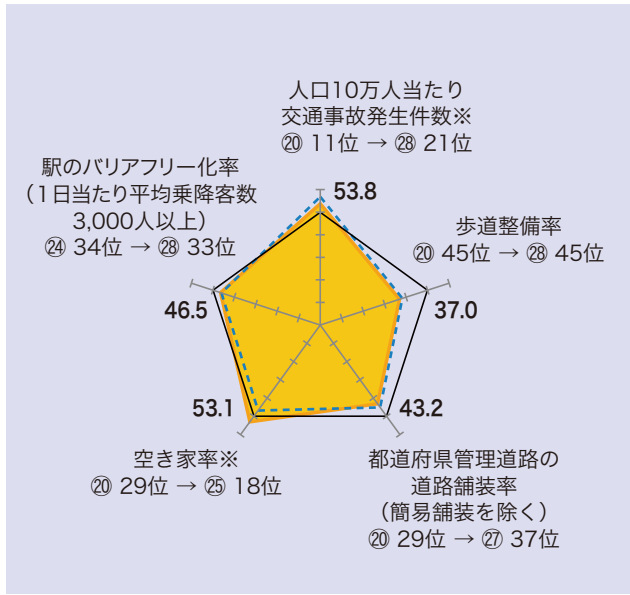
目指す姿

平成39(2027)年度までに、県民アンケートにおいて、**奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合を70%に**します。

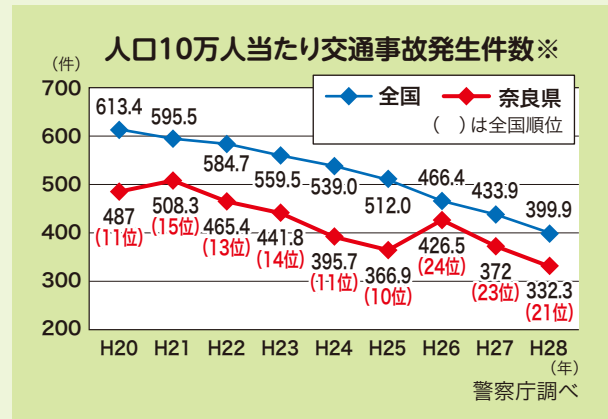


目指す姿を達成するための取組状況

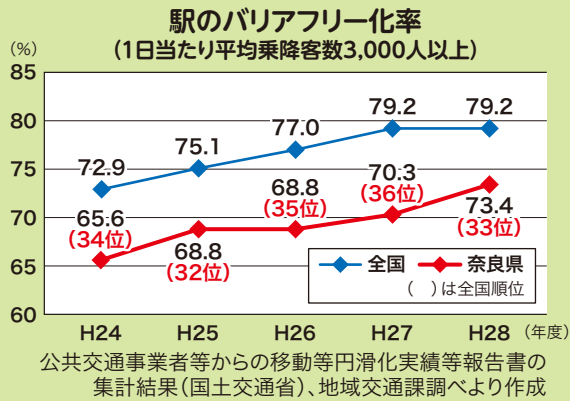
● 現状



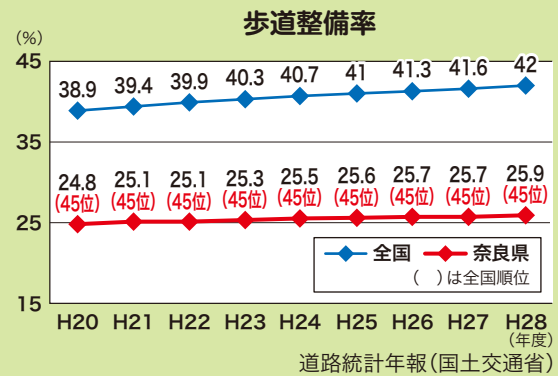
● トレンド



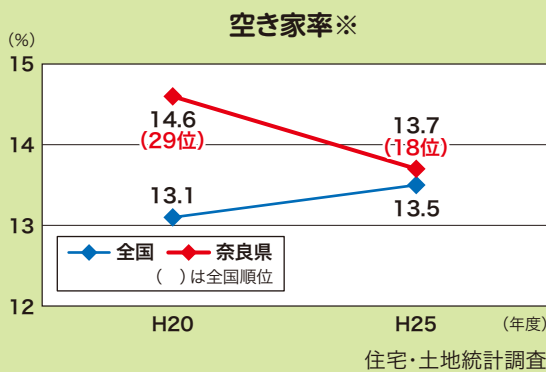
人口10万人当たり交通事故発生件数は概ね減少傾向にあり、全国と比べても少なくなっています。



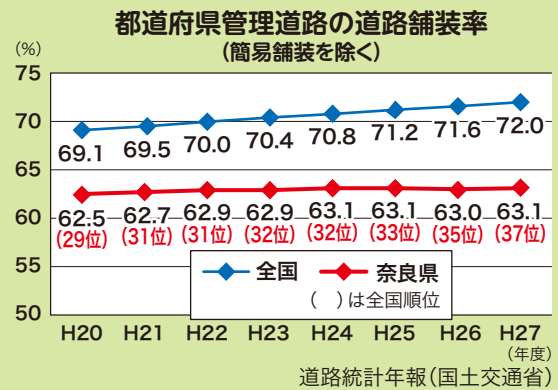
駅のバリアフリー化率は、平成24年度と比較して7.8ポイント上昇しましたが、全国平均と比較すると低い状態が続いています。



歩道整備を推進したため、整備率は上がっていますが、全国と比べると、依然低い水準となっています。



空き家率は、全国と比較すると少し高い状態ですが、平成20年度と比較して0.9ポイント下がっています。



平成27年度の県管理道路の道路舗装率は平成20年度から約0.6ポイント上昇していますが、全国と比べると低い状態が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

地域資源を活かし、住みよく、住み続けることができるまちづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

空家等対策計画を策定する市町村の割合

0%
平成27(2015)年度

目標

50.0%
平成31(2019)年度

まちづくりのための活動行動者率

13.7%
平成18(2006)年度

目標

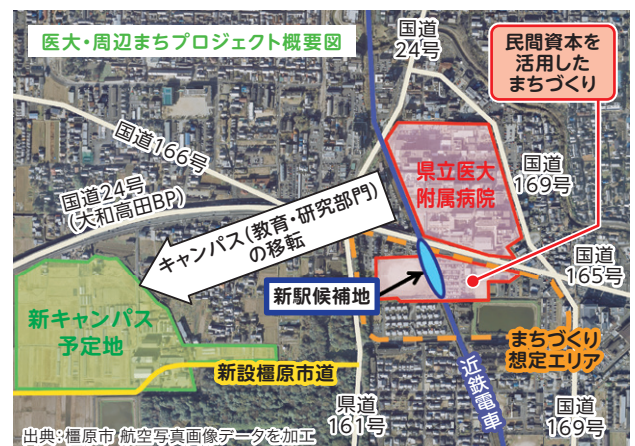
増加

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
空家対策の推進	市町村における空家等対策計画策定の支援		
地域資源を活用したまちづくりの推進	「奈良・町家の芸術祭 はならあと」、駅前広場等でのマルシェの開催支援		
	川辺のまちづくりの推進		
地域包括ケアのまちづくりの推進	医大・周辺まちづくりの推進		
	奈良県総合医療センターの跡地を活用したまちづくりの推進		



川辺のまちづくり(佐保川 川の彩り花づつみ事業による花植え)



医大・周辺まちづくりプロジェクト(橿原市)

戦略 2

やすらぎ・憩い・にぎわい・利便性を提供する空間の創出を推進します。

担当当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

地域の河川サポート事業
「彩り花づつみプログラム」参加団体数

25団体
平成26(2014)年度

目標
→

30団体
平成31(2019)年度

馬見丘陵公園花サポーター
(花緑ボランティア)登録者数

48人/年
平成28(2016)年度

目標
→

100人/年
平成32(2020)年度

京奈和自転車道の整備延長

0km
平成27(2015)年度

目標
→

75kmの概成
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
地域との協働による花のある空間づくり	河川を花で彩る活動の実施		
馬見丘陵公園のにぎわいづくり	イベント・講習会等の開催、花のパノラマ景観の創出		
広域的な自転車利用ネットワークの整備	京奈和自転車道の整備推進		



馬見フラワーフェスタ(馬見丘陵公園)



京奈和自転車道の整備(大和郡山市)

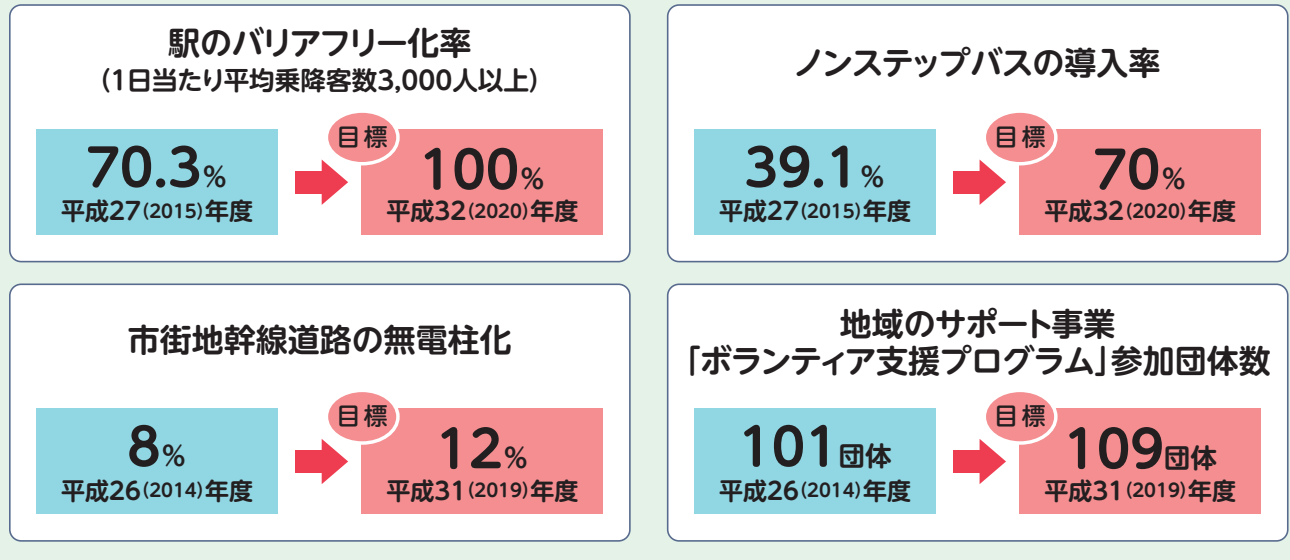


戦略 3

バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
鉄道駅のバリアフリー化推進	駅・周辺主要施設における移動空間の整備		
ノンステップバスの導入推進	バス利用環境の向上		
無電柱化の推進	「景観」「安全性」「防災性」の向上のための無電柱化の推進		
河川美化活動の推進	河川団体の募集、活動の見える化の実施		



【対策前】 無電柱化(檀原市内膳町～八木町一般県道大和八木停車場線)



近鉄下田駅のバリアフリー化



奈良・町屋の芸術祭はならあと(橿原エリア八木札の辻ゾーン)



地域による花植え活動(飛鳥川)



フラワーフェスタ ダリア花じゅうたん(馬見丘陵公園)